

CASBEE-建築(新築)2014年版
学校法人福岡学園 福岡看護大学(仮称)新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40		-			3.0
1 音環境		3.2	0.15		-			3.2
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.6	0.40		-			
1 開口部遮音性能	T-2(建具特記仕様書)	5.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35		-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50		-			
1 室温		3.0	0.60	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		1.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	1.0	-			
3 光・視環境		2.6	0.25		-			2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30		-			
1 昼光率		1.0	0.60	1.0	-			
2 方位別開口		-	-	5.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
1 昼光制御		3.0	1.00	4.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15	1.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	1.0	-			
4 空気質環境		4.0	0.25		-			4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆及びノンアスベスト品とする。(仕上げ表)	5.0	1.00	5.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	1.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	敷地内は禁煙にするとの施主よりヒアリングを行っている。	5.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能			0.30		-			3.0
1 機能性		2.7	0.40		-			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30		-			
1 広さ感・景観		1.0	0.50	4.0	-			
2 リフレッシュスペース		2.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.5	0.30		-			3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.50		-			
1 耐震性	耐震安全性の分類をⅡ類とし、設計を行っている。	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	熱源種(電気、ガス)の分散化を行っている。	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水化、配管系統区分化、受水槽の設置(系統図、器具図)	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.8	0.30	-	-	2.8
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.8m以上確保。(断面図)	4.0	0.60	5.0	-	
2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40	1.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	屋上設備基礎部にバックアップスペースを確保。	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.84	4.1	0.50	-	-	4.1
集合住宅以外の評価(3a.3b)		省エネ計算書	4.1	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)		同上	-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			4.2	0.20	-	-	4.2
1.1 節水		節水器具の採用。(系統図、器具図)	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.4	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用システムを導入している。	5.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		磁器質タイル、タイルカーペット、ビニルタイル	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		外壁+軽鉄+仕上げ材の採用。間仕切り壁すべて軽鉄+仕上げ材。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ノンフロン現場発泡硬質ウレタンフォームの採用。(断熱特記仕様書)	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮		高い断熱性能によりCO2排出量を低減。(省エネ計算書)	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制		自転車、自動車の収容台数を必要台数以上に確保。	4.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.67	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	